

教材活用史料詳細カード 30

請求番号	A0384A0G	文書 番号	976	年代	大正11年(1922)
史料名	『大正十年群馬県五大物産統計』				
形態	縦22cm×横28cm	複製	あり	タペストリー	
備考	「授業で使えるぐんまの資料」に掲載				
史料概要	<p>史料は大正11年(1922)に群馬県内務部から発行された『大正十年群馬県五大物産統計』に記載されているグラフ。五大物産とは米、麦、繭、生糸、織物で、それぞれの生産高(額)が示されている。この統計から当時の群馬県の主要な農産物が米、麦、繭、主要な工業品が生糸・織物であったことがわかる。</p> <p>米は粳(うるち)米・糯(もち)米・陸稻の合計で、稲穂の高さで表されている。麦は大麦・裸麦・小麦の合計で、穂の高さで表されている。繭は春蚕(5・6月)と夏秋蚕(8・9月)の合計で、蚕の白い繭で表されている。生糸は器械糸・座繰(ざぐり)糸・玉糸(2匹の蚕が一緒に作った繭からつむいだ糸)の合計で、上の糸巻きから垂れた糸の長さで表されている。織物は絹・綿・絹と綿の交織・麻や毛などの交織物の合計で、藤の花の垂れ具合で表されている。</p> <p>第一次世界大戦(大正3年～大正7年)中に生糸と繭の生産額が急上昇しており、これらの産業が大戦景気の影響(アメリカ向け生糸輸出の増加等)を受けたことがわかる。</p>				
指導要領との関連	<p><中歴> C-(1)-ア-(オ) 第一次世界大戦の背景とその影響</p> <p><日探究> D-(3)-ア-(ア) 第一次世界大戦</p> <p><歴総合> C-(2)-ア-(ア) 日本やアジアの経済成長</p>				
活 用 例					
活用単元	世界経済の変容と日本				
活用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・大戦景気を学習する導入部分に使用する。 				
活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフの読み取りを通して、第一次世界大戦前後の群馬の経済状況の変化について時期を区分して理解させる。 				
予想される生徒児童の反応など	<ul style="list-style-type: none"> ・色鮮やかなグラフなので、取り組みやすいと思われる。当時の輸出品の主力である生糸の生産額が大戦中は増加し、大戦後は減少する様子から、群馬県経済が世界経済の影響を受けていることを認識できる。 				

大正元年 八千六百圓
 大正二年 八千二百圓
 大正三年 五千三百圓
 大正四年 三千五百圓
 大正五年 二千二百圓
 大正六年 一千七百圓
 大正七年 一千七百圓
 大正八年 二千圓
 大正九年 二千圓
 大正十年 二千圓

生絲

大正元年	五十五萬貫
大正二年	四十二萬貫
大正三年	四十二萬貫
大正四年	四十二萬貫
大正五年	四十二萬貫
大正六年	四十二萬貫
大正七年	四十二萬貫
大正八年	四十二萬貫
大正九年	四十二萬貫
大正十年	四十二萬貫

十萬貫
 二十萬貫
 三十萬貫
 四十萬貫
 五十萬貫

本玉 千貫 143
 絲 千貫 362

繭

夏秋繭 228千石
 春繭 225千石

大正元年	三十三萬五千石
大正二年	三十二萬三千石
大正三年	三十三萬九千石
大正四年	三十二萬六千石
大正五年	四十二萬七千石
大正六年	四十五萬七千石
大正七年	四十七萬三千石
大正八年	四十七萬二千石
大正九年	三十七萬二千石
大正十年	四十四萬八千石

四十五萬石 四十萬石 三十五萬石 二十五萬石 二十萬石

麥

大正元年	九十二萬九千石
大正二年	九十二萬九千石
大正三年	九十二萬九千石
大正四年	九十二萬九千石
大正五年	九十二萬九千石
大正六年	九十二萬九千石
大正七年	九十二萬九千石
大正八年	九十二萬九千石
大正九年	九十二萬九千石
大正十年	九十二萬九千石

九十二萬石 八十萬石 七十萬石 六十萬石 五十萬石

米

大正元年	六十四萬石
大正二年	六十四萬石
大正三年	六十四萬石
大正四年	六十四萬石
大正五年	六十四萬石
大正六年	六十四萬石
大正七年	六十四萬石
大正八年	六十四萬石
大正九年	六十四萬石
大正十年	六十四萬石

七十萬石 六十萬石 五十萬石 四十萬石 三十萬石 二十萬石 十萬石

